

○地震其他地異彙報

明治三十二年 中地震其他地異ニ關シ本會へ報告スルモノ、中其重モナルモノヲ舉グレバ左ノ如シ

●地震

○德島測候所電報 三月七日午前十時二十六分發

強午前九時五十五分四十六秒上下動アリ家屋動搖ス

○鹿兒島測候所電報 三月二十四日午後三時發

午後一時零分三十五秒強震ス損害ナシ

○熊本測候所電報 十一月二十五日午前七時十分發

今朝三時四十三分二十九秒強震ス被害ナシ

○佐賀測候所電報 十一月二十五日午前七時二十分發

強震アリ午前三時四十六分十二秒東西及南北動ニシテ時計止マル

○中央氣象臺報 十一月二十五日

今曉午前三時四十分過ぎ九州豊肥ノ間ニ強震アリ其區域頗ル廣ク其後十分ヲ經テ稍々強キ續震アリ該地方ニハ多少ノ損傷アリシナラシモ別ニ著シキ被害ナキ模様ナリ今各地ヨリノ報告ヲ列記スレバ左ノ如シ

測候所	月	日	時	刻	震度	記	事
大分	十一月	二十五日	午前三時四十分	三秒	強	性質急家屋破損シ續震アリ	
熊本	同	同	同	四十三分二秒	強	性質急上下動アリ家屋動搖ス	
佐賀	同	同	同	四十六分十秒	強		
宮崎	同	同	同	四十三分四秒	強(震キ方度)	障壁龜裂ス續震アリ	
鹿兒島	同	同	同	四十三分二秒	強(上同)	家屋動搖ス	
松山	同	同	同	四十二分十秒	弱		
長崎	同	同	同	四十三分三秒	弱	性質急家屋動搖ス	
大阪	同	同	同	四十五分十七秒	弱	震動時間長シ	
福岡	同	同	同	四十八分五秒	弱	上下動アリ家屋動搖ス	
大島	同	同	同	四十一分〇秒	弱(震キ方度)	家屋動搖ス	
廣島	同	同	同	四十二分二秒	弱(上同)		
飯田	同	同	同	四十九分二秒	微		
高知	同	同	同	四十五分八秒	微		
東京	同	同	同	四十五分一秒	微		
水戸	同	同	同	四十三分二十秒	微		

(備考)佐賀、松山、飯田ハ時計ニ故障アリ時刻正シカラズ

大分	佐賀	熊本	福岡	鹿児島	大阪	廣島	長崎	飯田	東京
十一月二十五日	同	同	同	同	同	同	同	同	同
午前三時五十分	五十六分	五十四分	五十分四秒	五十五分	五十六分	五十四分	五十五分	午前四時一分	同
五分七秒	十八秒	十秒	十三秒	〇秒	五十二秒	十秒	十秒	二十五秒	同
強	強	強(震度弱)	弱	弱	弱	微	微	微	微
性質急家屋動搖ス		性質急上下動アリ	上下動アリ家屋動搖ス	家屋動搖ス	震動時間長シ	上下動アリ	家屋動搖ス		

●若狹山崩潰

○兵庫縣四月二十二日報告

字若狹山ハ三原郡倭文村ノ内庄田村安住寺組笹田助太郎ノ所有山ニシテ本月十一日午後三時頃東ノ山麓ヨリ頂キヲ越ヘ西

ノ麓ニ至ル東西凡五六十間ノ間ニ二條ノ裂ケ目(裂ケ目ノ幅七八間)ヲ生ジ(其餘波東西山下ノ田)條ト條トノ距離廣キ處ハ四間乃至六間狹キ處ハ二間内外ニシテ兩條間ノ地盤山嶺ノ畑ノ部分ト他數ヶ處ニ於テ二尺乃至四尺許陷沒シ尙右壤裂ノ爲メ地盤ノ其押開カレタル影響ニヤ西北面(戊ノ方位)ノ斷崖高凡十五間幅貳拾四五間百雷ノ落ツルガ如キ響キヲ以テ崩潰シ山下ヲ流ル、倭文川ノ水源庄田川ヲ埋沒シ近傍人民一時非常ニ騒キタルモ幸ニ人畜ノ死傷家屋ノ損害等ハ之ヲカリシ

右崩潰ノ箇所ハ尙同夜十二時頃一回翌十二日夜十二時ニモ一回崩潰シ分裂ノ箇所モ漸々地盤低落スルノ模様アリ

該山ハ高凡二十四五間周圍百五六十間ノ小山ニシテ小松其他雜木疏生シ土質ハ御影交リノ脆弱ナル土砂ナリ今ヨリ凡四十年前ニモ少シク崩潰シタル事有之趣

安住寺組ハ郡ノ東北部ニ位シ周圍山ヲ以テ圍繞セル戸數五六十戸ノ一小部落ニシテ右若狹山ハ東方熊山ヲ隔テ先山ニ隣リタリ

右崩潰ノ爲メニ損害ヲ受ケタルハ山嶺ノ畑地(凡三畝歩ノ内)陷沒シタルト該山ニ沿ヘル用水路ヲ埋メタル爲メ山下ノ田地六百歩許ノ用水ヲ失ヒタルト庄田川四五間埋沒シタルトニ有之候

○同上六月二十三日報告

四月十一日崩潰ヲ始メテヨリ日々多少ノ異狀ヲ呈シ本月八日
ノ大雨ニヨリテ山ノ中央頂ヲ越ヘテ東ハ安住寺川傍西ハ山麓
ニ達スル長凡七十間幅凡八間乃至十二三間即チ先キニ生シタ
ル二條ノ裂目間地盤一帯陷落シテ深サ凡三拾間土砂崩潰スル
コト非常ニ夥シク東南川傍ノ田面モ亦陷落シテ何レモ川中ヲ
埋メ其他山ノ周圍ニ位スル田面ハ悉ク龜裂ヲ生シ且處々陷落
シテ耕作スルニ堪ヘズ

同山續キニシテ東南ニ凡一町ヲ隔テ墓地ト接續シタル
箇所新ニ長幅凡拾間深凡一間崩潰セリ其後尙引續キ土砂崩潰
スルヲ以テ近傍ノ居民ハ安堵セサルノ狀況ナリ

●瓜哇地震

明治三十二年十月十四日瓜哇「モラカス」群

島中ノ「セラシ」島ニ於テ激震アリ「アムポイナ」市ハ破壊シ
死者四千人ニ止リ負傷者數知レズ云々ノ海外電報某新聞ニ
掲載アリシヲ以テ其實況如何ニ由リテハ本會委員ヲ派遣ス
ルノ必要アルベシトテ文部省ヨリ至急電報ヲ以テ右ノ實況
ヲ問合ハサレ度旨外務省ヘ依頼セシニ左ノ通知ヲ得タリ

十月三十一日附外務省通知

曩ニ御依頼ノ瓜哇モラカス群島ニ於ケル震災ノ件ニ就テハ早
速在新嘉坡帝國領事館ヘ電報ヲ以テ問合候處今回領事館ヨリ

瓜哇官報ノ記載スル所ニ據レハ九月三十日午前一時四十五分
地震ニ次テ海嘯起リ「セラシ」島南岸諸州「アムポイナ」島「バ
ンダ島」(Banda)「ウリアツセルス」嶋(Ulissers)「アマヘイ
嶋」(Amahet)ハ悉ク破壊セラレ死亡四千人負傷五百人ナリト
ノ趣返電ニ接候間右及御通知候也

十二月十三日附同上

瓜哇「モラカス」群島中「セラム」島ニ於ケル震災ノ件ニ關シテ
ハ既ニ去月一日送第二三號ヲ以テ在新嘉坡帝國領事館ヨリノ
電報及御通知置候處尙今回同地駐在小幡領事館事務代理ヨリ
別紙ノ通委細報告致來候間右寫及御送付候也

(別紙) 蘭領印度「セラム」島震災ノ狀況

本月七日及九日「アムポイナ」發ノ電報ナリトテ瓜哇官報ノ記
載スル所ニ據レバ去ル九月三十日午前一時四十五分猛烈ナル
一大地震ハ「セラム」島南海岸一帯ノ地ヲ搖撼シ去リ之ニ次ク
ニ直ニ海嘯ノ侵襲ヲ以テシ同地方ハ非常慘害ヲ被リ「アムポ
イナ」「バンダ」及「ウリアツセルス」(Ulissers)諸島亦均シク此
災禍ニ遭遇シタレドモ其被害ノ程度ハ之ヲ「セラム」南岸諸州
ニ比スルニ稍輕カリシト云フ「セラム」島南海岸諸州並ニ「エ
ルバポエーチ」灣(Bay of Elpaputih)ニ於テハ唯一州ヲ除ク
ノ外全然災威ノ席捲スル所トナリタリ殊ニ「アマヘイ」ニ於テ

ハ其被害ノ慘狀最モ甚シク其市街ハ全然破壊セラレ其監獄ハ頽壞シ其要塞砲臺等亦少ナカラザル損害ヲ受ケザルハナク唯副牧師ノ住宅寺院及「アマヘー」衛戍並ニ「アマヘイ」及「カイルレー」ノ郵便局ノミハ僅ニ破壊ヲ免ル、コトヲ得タルモノ、中ナリト稱セラル

政廳ハ即時ニ救済賑恤ノ方法ヲ講シ和蘭王國郵船會社ノ汽船「ヤマツプ」及「ヤバラ」ノ二艘ヲ雇入レ取敢ヘズ食料品ニ醫療器械藥品等ヲ震災地方ニ送付シ同時ニ「テルナチイ」ノ知事ニ知照シテ應急ノ助力ヲ請ヒタリ之ヲ要スルニ食料品並ニ建築用材ハ「アムボイナ」ニ於テ之ヲ得ベキ路アリシガ故ニ最急至要ノ必要品丈ハ急要ニ應ジ直ニ供給スルコトヲ得タレドモ其他ノ日用品ニ至テハ今尙ホ痛ク其缺乏ヲ告ゲツ、アリト云フ御用船「ヤマツプ」號其後二十七人ノ負傷者ヲ載セテ「アムボイナ」ニ歸航シ尙ホ和蘭王國郵船會社々長並ニ醫員ハ罹災地方ニ出張シ「ヤバラ」號ヲ以テ「アマヘイ」及「サバロア」ヨリ四十九人ノ負傷者ヲ携ヘ歸レリ

「バンド」島ニ於テハ「ナザウ」砲臺ノ前面ニアル防波堤ハ總テ破壊セラル、等ノ災害ハ到底之ヲ免ル、コト能ハザリシモ其後ノ報道ニヨレバ被害ノ程度割合ニ甚シカラズ左マテ心配スベキ程ニアラズト云フ

死傷者ノ數ハ未ダ正確ノ調査ニ接セザレバ之ヲ知ルニ由ナクレドモ大約死者四千傷者五百位ナルベシト云フ被害地ノ住民ニシテ僅ニ生命ヲ全ウシタル者ハ深ク内地ニ難テ避ケ何レモ其舊居故宅ニ歸リ來ラズ人心今ニ恟々罹災地方ハ非常ノ混雜ヲ極メ居レリ「ボエラ」灣 (Boela Bay) 所在ノ石油坑ハ今回ノ震災ニ何等ノ影響ダモ及ボサレザリシト云フ

右ハ瓜哇官報ノ記載スル事實ナルガ尙ホ其後到達セル瓜哇「ボーフド」ノ記載スル所ニ據レバ靜穩ナル九月二十九日ノ夜ハ將ニ去リ三十日ノ曉ヤ始マラントスル頃即同日午前一時四十分水平動ノ一大強震ハ端ナク人ノ酣夢ヲ破リ此地震初ハ東北ノ方向ヲトリテ進行シ次ニ西南ニ轉シ大凡一分間程震動シ震後三十分許ヲ經テ俄然海水ハ猛烈ナル勢ニテ「アムボイナ」灣ニ向ツテ奔流シ來リタレドモ此海潮ハ幸ニシテ甚シク陸地ヲ浸潤スルコトナクシテ午前七時頃ニ至テ終ニ止ミタリ是ヲ以テ「アムボイナ」ニ於ケル損害ハ餘リ甚シカラズシテ事濟ミタリ「アマヘー」郵便局ハ輕微ノ損害ヲ蒙リタレドモ其吏員ハ幸ニシテ安全ニ危險ヲ免ル、ヲ得タリ

右ニ反シ Paulohy, Samasoeroe 及 Makariki ノ各州ハ全然災害ノ爲ニ荒廢ニ歸シ右 Paulohy 及 Samasoeroe ノ二州ハ合セテ千七百餘ノ人口ヲ有スル所ナルガ其中生殘リタルモノハ

僅ニ四十人災後死屍累々海濱ニ散點スル有様ハ誠ニ目モ當テ
ラレザル狀況ナリ

Epapetih 灣ニ於テハ海嘯ノ高サ之レヨリモ尙ホ數メートル
高ク相應ニ高キ樹木ハ何レモ其頂上ヲ海水ノ爲ニ浸サレタル
ヲ見テモ此方面ニ於テハ嘯害ノ甚シカリシヲ想像スルニ足リ
其一タビ海水ノ浸潤シ去リタル跡ハ今ヤ一個ノ水澤ト化シタ
リ「サバロラ」ヨリ來リテ西穀樹ノ收穫ニ從事シツ、アリシ一
隊ノ農人ハ墓ナクモ其際何レモ生命ヲ失ヒ此地方ニ於テ僅ニ
身ヲ以テ虎口ヲ逃レタルモノト雖モ何レモ悲慘ノ話ヲ有セザ
ルモノナク或ハ首ナキ死骸ガ高ク西穀樹ノ梢上ニ懸リ居タリ
ト云ヒ或ハ波ニ漂フ人屍ニ鰐魚ノ群ルヲ見タリト云ヒ其談何
レモ人生酸鼻ノ極ニアザルハナシ
此海嘯ノ爲ニ石片ノ大塊ニシテ陸地ニ流レ來リタルモノ少ナ
カラザリシト云フ

Hatoesoia ニ於テハ死者百ヲ超エ傷者四十ニ至リ住民ノ多數
ハ難ヲ内地ニ避ケタリト云フ